

令和 6 年度 自己評価

松山歯科衛生士専門学校

学校法人松山ビジネスカレッジ

令和 6 年 1 1 月 1 日

自己評価の実施について

(1) 学校法人松山ビジネスカレッジについて

松山デザイナー専門学校（旧 専門学校松山ビジネスカレッジ クリエイティブ校）、松山歯科衛生士専門学校、及び専門学校松山ビジネスカレッジビジネス校は、松山市中心部に位置し、学校法人松山ビジネスカレッジが経営する専修学校である。昭和 21（1946）年 3 月、「松山洋裁女学院」として創立され、現在専門学校 3 校、6 学科を設置し、15,000 人余の卒業生を世に送り出してきた 78 年の歴史と伝統のある専門学校である。

(2) 松山歯科衛生士専門学校 自己評価の実施概要

自己評価は、理事長以下常務理事、校長、管理本部長、進路指導部長、副校長を責任者とし、関係する全ての教職員による評価を反映できるよう実施し、経営陣及び全ての教職員は、法人・学校として目指すべき重点課題を再認識し、その達成状況や達成に向けた取り組みの適切さ等を自ら評価した。

なお、自己評価表の作成については「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考に、10 の項目について「1（不適切）～4（適切）」の 4 段階評価で行った。

(3) 自己評価の成果

経営陣は、自己評価の結果を受けて、組織的に重点的に取り組むべきことは何かを把握し、その改善に取り組むことで、組織的・継続的に学校運営を改善することの重要性を示すことができた。

上記を受けて、関係する全ての教職員一人ひとりが、教育の質を担保し、学生がより良い学校生活を送れるよう、学校運営の改善と発展を目指し、不断の努力を積み重ねている。

また、当該評価の成果物である、本報告書を公表することで、安定的・持続的な経営に資する一層の効果が発揮されている。

(4) 自己評価の公表方法及び期間

本自己評価の公表方法は、松山ビジネスカレッジのホームページにその全文を掲載することで公表する。公表期間は、翌年度実施の自己評価の公表の前日までとする。

なお、諸般の事情により翌年度の自己評価が実施できない、あるいは公表できない場合は、ホームページ掲載から 1 年を経過した時点をも、公表の終期とする。

(1)教育理念・目標

回答者	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。 (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
学校	学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
学校	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
学校	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか	4 ③ 2 1

【課題】

①学校が掲げる理念、人材育成像、特色の周知

【今後の改善方策】

①学生に対しては、入学前研修や各学年のオリエンテーションの場にて適宜周知し、指導に繋げている。現在、保護者に対しては入学式や学校行事の際に保護者説明会を開催し説明の場を設けているが、出席できなかった保護者に対してのフォローが十分ではない。今後は議事録や資料を作成・郵送し、全ての保護者に対しての周知を徹底する。

【特記事項】

(2) 学校運営

回答者	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
管理本部	目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
管理本部	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1
管理本部	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1
管理本部	人事、給与に関する規程等は整備されているか	④ 3 2 1
管理本部	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 ③ 2 1
管理本部	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④ 3 2 1
管理本部	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
管理本部	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 ③ 2 1

【課題】

- ①当法人の運営方針に沿った事業(募集)計画の実施・検証態勢
- ②教職員の目標管理と育成
- ③情報システム化等による業務の効率化

【今後の改善方策】

- ①事業(募集)計画の達成に向けて、Plan(計画)、Do(実行)、Check(確認)、Action(行動)のサイクルを回していくことが重要であり、月例会議において短期、中期事業計画に対する進捗状況を月次で確認し、今後の対策を協議・決定し実行していく活動を継続し、より一層レベルを高めていく。
- ②令和4年度より教職員の職務上の目標を設定しており、目標達成への道筋を可視化することにより、業務の効率化と能力向上を図っている。今後、組織全体として生産性とモチベーションの向上に繋がるよう適切な目標管理を進める。
- ③これまでの物理的に分離した校務系・学習系システムでは、それぞれ別に端末を整備する必要があり、教員の業務負担増加の一因となっていたが、現在十分なセキュリティを講じたうえでネットワークの統合を行い、端末の一台化や業務の効率化を図っている。

【特記事項】

・教育活動等の情報公開として、授業計画(シラバス)や3つのポリシー(卒業認定・教育課程編成・入学者受入れ)、成績管理等についてHP上に公開している。

(3)教育活動

回答者	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
学校	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
学校	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
学校	授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
学校	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
学校	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
学校	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 ③ 2 1
学校	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④ 3 2 1

【課題】

①高い教育水準を誇る学校であり続けるための、教員の知識・技術・指導力向上

【今後の改善方策】

①令和5年度も、教員が教育に必要な知識の習得とスキルアップのため研修会を多数受講し、情報の内容を精査の上学生の授業に反映させた。今後も最新の歯科医療や国家試験出題基準に対応するために継続して課題とし、教員の指導力と教育水準の向上に繋げていく。

【特記事項】

(4)学修成果

回答者	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
進路指導	就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
学校	資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
学校	退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1
学校	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
進路指導	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1

【課題】

- ①資格取得率の向上および高い合格率の維持
- ②卒業生の社会的活躍状況の把握

【今後の改善方策】

- ①本校では令和3年度より、歯科衛生士国家資格だけでなく、関連資格である介護職員初任者研修とメディカルクラーク(歯科)を全員が取得できるカリキュラムが始動している。令和6年度が新カリキュラム完成年度となるため、メディカルクラーク(歯科)において全員合格できるよう、教育内容の充実と学生の理解度の把握・フォローを徹底する。
- ②卒業生とのグループLINEやSNSにて、歯科医療現場や企業での活躍の一部を把握しているが、全体の状況が把握できる場がないため、OB会の開催等を検討していく。

【特記事項】

- ①令和5年度の歯科衛生士国家試験合格率は97.4%(前年度94.9%)、介護職員初任者研修は100%(前年度100%)であった。

(5) 学生支援

回答者	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
進路指導	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
管理本部	学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
進路指導	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
管理本部	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 ③ 2 1
管理本部	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
管理本部	学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
学校	保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
進路指導	卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
学校	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④ 3 2 1
進路指導	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④ 3 2 1

【課題】

- ①学生相談に対する支援体制の整備及び学内共有や保護者との連携強化
- ②学生、保護者、教員の3者の信頼関係構築及び学生指導の連携
- ③卒業生への支援体制の整備

【今後の改善方策】

- ①保護者との連携強化とキャリア支援
保護者との連携に配慮しながら、キャリア教育や相談を積極的に実施する。また、学生に関する重要な情報は学内で適切に共有する。共有に際しては、心理的特徴や学習傾向を把握するためのツールを活用し、個別に最適な指導方法を教員と調整する。
- ②早期対応による生活面のサポート
出席状況や生活面での問題を早期に把握し、保護者と連絡を取り合うことで、迅速に改善を図る。また、入学直後の保護者説明会や定期的な成績報告、就職活動前の保護者を交えた面談を継続して実施し、保護者の理解と協力を得ながら支援を行う。
- ③卒業後のキャリア支援と就職斡旋
・就職活動や日常生活の中での心配ごとや不安を解消できるよう、人間環境大学の「こころの相談室」の提携利用など必要に応じて検討する。

【特記事項】

- ・令和2年度から実施された「高等教育の修学支援新制度」について、修学支援の対象機関となる専門学校として認定されている。
- ・学生全員の定期健康診断を毎月4月に実施し、学生の健康管理に努めている。また、臨床・臨地実習時には風疹・水疱・ムンプスの事前抗体価検査を追加実施している。
- ・新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行後も、引き続き定期的な換気、こまめな手洗い、場面に応じたマスクの着用など、基本的な感染対策の徹底に務める。
- ・松山東年金事務所より講師を招き、特別講義「年金セミナー」を行っている。

(6)教育環境

回答者	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	④ 3 2 1
学校	学内外、実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1
管理本部	防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

【課題】

- ①施設・設備の整備について
- ②学生への防災や災害時の避難に関する意識付け

【今後の改善方策】

①現在、即戦力となる人材育成に必要な設備を備えており、最新の歯科医療に対応するための最新機器については企業様の器材持ち込みにより特別講義を実施している。今後も最新の歯科医療機器や実習設備について、使用頻度や学習効果を精査し、整備していく。

②年1回行う避難訓練や松山市中央消防署から講師を招いて開催している防災・防火セミナーなどを通じて防災への関心を高め、万一の場合に適切に行動できるよう指導していく。

【特記事項】

・南海トラフ地震等の大規模地震に備え、地震発生時の安全確保行動の確認や防災意識の向上を図るため、平成27年度よりシェイクアウト愛媛(県民総ぐるみ地震防災訓練)に参加している。今年度も愛媛県の実施に合わせて学生全員が訓練に参加する予定。

(7) 学生の受入れ募集

回答者	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
進路指導	学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
進路指導	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
管理本部	学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

【課題】

- ① 認知度向上のための広報活動として、高校訪問やガイダンスの実施、WebやSNSを活用した情報発信等により、学校の認知度を高める。また、オープンキャンパス等のイベントを通じて、学校の魅力を効果的に伝える
- ② 教育成果を正確かつ積極的に発信し、学校の実績や教育内容の質を広く伝える広報活動を強化する。

【今後の改善方策】

- ① 情報発信の強化
分かりやすいホームページの作成に加え、TVCM、Web広告、SNSを活用した積極的な広報活動を展開し、学校の認知度を向上させる。また、学校訪問やガイダンスによる直接的なアプローチも強化する。さらに、令和6年9月に新駅舎となったJR松山駅からの視認性を活かし、校舎には校名入りの懸垂幕を設置して、より広く認知度を高める。
- ② イベントの強化
オープンキャンパスに加え、ミニオープンキャンパスや入試説明会など、気軽に学校を見学できる機会を増やし、多様な参加者に対応したイベントを充実させる。
- ③ 教育成果のPR
教育成果は、学校案内パンフレット、ホームページ、ガイダンスなどを通じて積極的に情報発信する。特に産官学連携や外部との協力に関する情報をPRし、学校の強みを広く伝える。

【特記事項】

(8)財務

回答者	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
管理本部	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
管理本部	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
管理本部	財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
管理本部	財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1

【課題】

①学生数の変化による収支の変動

【今後の改善方策】

①当法人の中期計画に基づき、単年度予算・収支計画を作成・実行している。少子化の影響等により学生総数が減少しているが、募集活動の改革により学生数の維持に繋げており、各部門の収入(学生募集)と支出(効率化等によるコスト削減)の管理を徹底することや、収益事業についても積極的に取り組むなど中長期的な視野に立ち財務基盤の強化を図っていく。

【特記事項】

- ・会計監査については、公認会計士事務所による定期的なモニタリングや総合的な監査を計画的に実施しており、適正である旨の評価を得ている。
- ・貸借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書、財産目録、事業報告書、監事監査報告書をホームページに公開している。

(9) 法令等の遵守

回答者	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
管理本部	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
管理本部	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
管理本部	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 ③ 2 1
管理本部	自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

【課題】

- ①個人情報保護のための対策
- ②学校評価の実施および改善への取り組みについて

【今後の改善方策】

- ①個人情報保護に関しては、「個人情報保護規定」により毎年個人情報管理台帳を整備し、個人データを適切に管理し運営しているが、技術の進化等に伴う情報機器の多様化・高度化への対応や、人的セキュリティの徹底など継続的に取り組んでいく。
- ②学校関係者評価については、関連する企業の方、地域の方、卒業生、在校生の保護者などに委員として参画いただいております。委員会において発言された意見等を十分に踏まえて、カリキュラムの改定、教育活動の見直し、募集活動などの質の向上に取り組んでいく。

【特記事項】

自己評価、学校関係者評価については、例年実施し、ホームページに公表している。

(10)社会貢献・地域貢献

回答者	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④ 3 2 1
学校	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1
学校	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4 ③ 2 1

【課題】

- ①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献について
- ②地域に対する公開講座・教育訓練の実施について

【今後の改善方策】

- ①令和4年度より継続して、愛媛県歯科衛生士会と協力し、本校の実習設備を使用した実技型歯科衛生士研修を実施している。卒業生を含む歯科衛生士のスキルアップのため、今後も継続し実施していく。
- ②現在、救護施設や幼稚園、小学校での口腔衛生指導、口腔機能管理法の指導を実施している。今後も社会的ニーズを把握し、可能な限り、幅広い年齢層の口腔衛生に貢献できる学校を目指す。

【特記事項】

ボランティア活動は、令和5年度は愛媛マラソンと赤い羽根共同募金のボランティアに参加し、今年度も同様に参加予定である。